

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)		
事務事業名	特定教育・保育施設運営経費(延長保育)【再掲】	事業番号	79
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2 男女共同参画の推進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	民間保育園(しらかば保育園)入所児童の保護者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	民間保育園(しらかば保育園)の実施する延長保育に対し、国の補助制度を運用した支援措置を講ずる。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	保護者の就労形態の多様化に対応するため、安心して子育てができる環境を整備し、就労と子育ての両立の支援により、児童福祉の充実を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 延長保育実施施設数	1施設	1施設	1施設	1施設			3施設	6施設
2 延長保育利用人数	894人	894人	817人	644名			2,450人	4,250人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は1-4で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費(=人員(人工)× 7,696千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成24年度より、民間保育園(しらかば保育園)において開始し需要に対応しており、引き続き施設と連携して継続実施とする。
今後の動向・市民ニーズなど	利用状況については、市内の産業状況により変動するものと推測されるが、今後の推移を見ながら拡充について検討する。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 保護者が安心して就労することができ、子育てとの両立の支援の面からも有効性が高い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 国の補助制度運用のため、自治体以外の実施が不可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の補助制度を利用した事業のため、運用条件が設定されており見直す必要はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の補助制度により、国・道・市の負担割合が定められている。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 国の制度に基づく事業であるため、可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 国の定める運用ルールでは、延長保育を実施する施設が任意に料金設定をすることとなり、保護者から利用料金を徴収している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	商工観光課(商工労政担当)		
事務事業名	根室なでしこ応援事業【再掲】	事業番号	12557
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2 男女共同参画の促進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	事業所・市民
	対象者の今後の予想	女性の就労機会が増加される
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	女性の社会における活躍の場を創出するとともに、市内企業における労働力確保に努め、地域経済の活性化に繋げる。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	潜在的な労働力である女性の活用が図られ、市内経済の持続的発展や労働力の確保に繋げる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 就職者数	2件	2件	1件	0件			5件	10件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				H29予算		H29決算	H30予算	
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は5-13で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費		(=人員(人工) × 7,696 千円)						
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	女性の就労機会の支援をすることにより、市内労働力の確保が図られるため、今後も継続予定である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	登録者の資格確保への支援等により、就業へ結びついている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	財政的支援要素が強いため、事業の特殊性からも、市以外が単独で取り組むことは難しい。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	資格取得支援補助については、対象となる資格の拡大について調査する必要がある。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	制度周知については、効率の良い周知方法を検討していく。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	女性に特化した事業を展開していくため、他の事業との統合は現段階では馴染まない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	資格取得支援補助については、一定の補助率・上限額を設定している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)		
事務事業名	放課後教室管理運営経費【再掲】	事業番号	372
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2 男女共同参画の促進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の児童
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営及び放課後子どもプラン事業の実施により、学校や地域の協力を得ながら、放課後等における児童への遊びや生活の場を提供するとともに、健全育成に必要な学習や活動等を実施している。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	保護者の就労や疾病、介護等により、昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、全ての児童が放課後等に安心・安全な居場所を得られるほか、様々な体験活動や交流活動等をおして発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となることから、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣が確立され、子どもの健全育成が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)	
		H27	H28	H29	H30	H31			
1 地域ボランティア人数	4人	4人	3人	3人			10人	10人	
2 放課後教室における実施事業数	101回	101回	101回	118回			110回	110回	
3 放課後教室における実施事業参加者数	4,589人	4,589人	4,331人	5,512人			5,000人	5,000人	
4									
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算			
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は3-10で計上)							
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)									
職員人件費	(=人員(人工) × 7,696 千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)									
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)									
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	留守家庭児童会等の入会児童及び支援を要する児童の利用増加や慢性的な指導員不足などの課題が生じていることから、登録児童の定員や指導員の配置等について適正化を図り、拡充や合理化など必要に応じた対応を検討している。
今後の動向・市民ニーズなど	子育て世帯の核家族化や共働き世帯・ひとり親世帯が増加しているほか、ワークライフバランスの推進等により、留守家庭児童会等の入会児童や放課後教室等の利用児童が増加しており、今後こうした状況が継続すると考えられる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	放課後等の安心・安全な居場所づくり、効果的なプラン事業の実施や遊びをとおした指導は、将来を担う子どもたちの心身の健康増進や情操を豊かにし、調和のとれた健全育成が図られ、また、保護者が安心して働ける環境づくりにも寄与していることから、家庭と仕事の両立が必要な子育て世帯への支援につながっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
	放課後教室等の利用児童数の増加に伴い、これ以上の節減は現状難しいが、より効率的かつ効果的な事業の実施を図っていききたい。
	留守家庭児童会等の入会児童や放課後教室等の利用児童が一部の館で増加している一方で、利用率の不均衡、少子化による対象児童の減少といった課題も生じていることから、入会児童の定員数、指導員の配置数及び活動スペース等について適正な見直しが必要であると考えている。
	放課後児童健全育成に関する事業と類似する事業がないことから、他の事業を統合する可能性は低いですが、子育て環境の多様化・複雑化に柔軟に対応するため、子ども子育てに関する事業を実施している部署や機関とは連携を強化していききたい。
	放課後教室等で実施する行事にかかる費用を一部負担していただいております。子ども・子育て支援計画の基本的な方針に基づき、これ以上の負担は求めるべきでは無いと考える。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月